

令和2年7月9日

愛媛大学

オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社

愛媛大学発バイオベンチャー

「オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社」創業のお知らせ

～次世代抗体作製技術を駆使して、難治性疾患の新たな治療薬開発に挑む～

このたび、がんをはじめとした難治性疾患に対する新たな抗体医薬品の開発を目指して、愛媛大学発バイオベンチャー「オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社(所在地:愛媛県東温市、代表取締役:西岡駿)」を2020年6月30日に創業したことをお知らせいたします。

オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社の創業科学者である越智俊元特任講師、竹中克斗教授、山下政克教授、愛媛県立医療技術大学 安川正貴学長のグループは、遺伝子改変技術を応用し、免疫治療効果の高い抗体を効率よく作製できる**新技術「Eumbody System™」を開発**しました。同技術を活用して、アカデミアや製薬企業との連携を通して創薬支援事業および独自の医薬品開発を推進し、がんをはじめとした様々な**難治性疾患に対する抗体医薬品開発**に努めて参ります。

なお、本事業は、「愛媛大学学長特別強化経費事業」(平成30年度)のうち、ベンチャー企業の事業化を目的とした「産業支援強化事業」に採択され、予算配分を受けたものです。

つきましては、記者説明会を開催しますので、是非、取材くださいますようお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症対策として、事前に参加者数を把握するため、7月13日(月)までに別添の取材申込書を下記担当までメールにて提出くださいますよう、お願いします。

記

日 時: 令和2年7月14日(火) 15:00～16:00 (開場14:30)
場 所: 愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センター 1階 講義室
東温市志津川454 (※参加者数により会場を変更する場合があります)

出席者(予定):

愛媛大学大学院医学系研究科長/免疫学・感染防御学講座 教授/医学部附属病院先端医療創生センター 部門長 山下 政克
愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座 教授 竹中 克斗
愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座 特任講師/愛媛大学プロテオサイエンスセンター 講師 越智 俊元
オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社 代表取締役社長 西岡 駿

※出席者は予告なく変更する場合があります。

【本件に関する問い合わせ先】

オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社
担当:西岡 駿

Mail: shun.nishioka@optieumbio.com

愛媛大学医学部総務課企画・広報チーム
担当: 南部・友澤

TEL:089-960-5225 FAX:089-960-5131

Mail: mekoho@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料5枚(本紙を含む)

愛媛大学発バイオベンチャー

「オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社」創業のお知らせ

記者説明会 取材申込書

愛媛大学医学部総務課企画・広報チーム 宛

「オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社」創業のお知らせ 記者説明会
の取材を申込みます。

参加人数、代表者名は以下のとおりです。

日時：令和2年7月14日（火） 15：00～（開場 14：30） 場所：愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センター 1階講義室

参加人数（ ）名

【代表者連絡先】

会社名・所属： _____

氏名： _____

TEL： _____

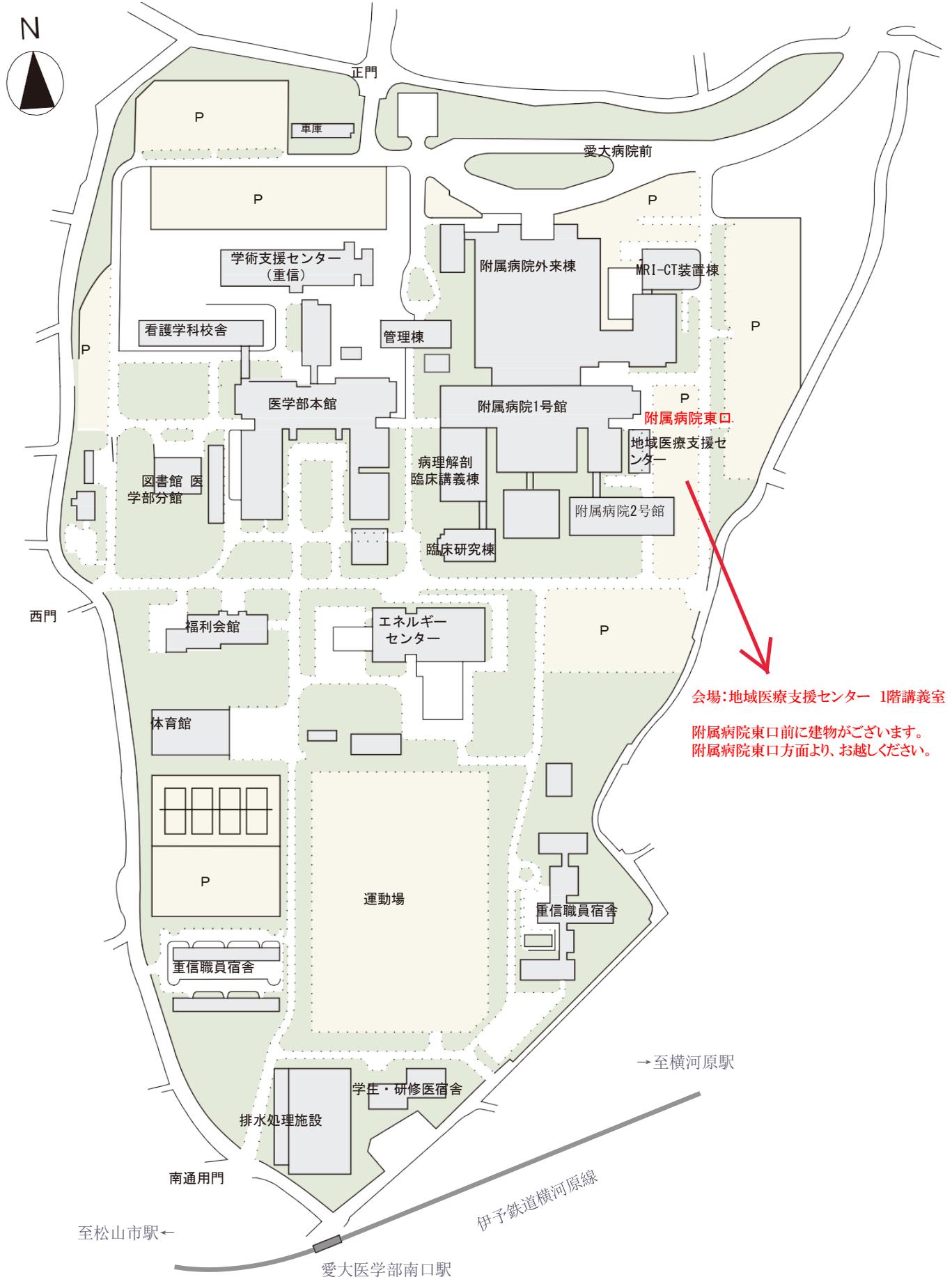
E-mail： _____

※コロナウイルス感染症対策のため参加人数の記載を願いたします。

（取材申し込み受付：7月13日（月）まで）

愛媛大学医学部総務課 企画・広報チーム TEL：089-960-5225 FAX：089-960-5131 Mail：mekoho@stu.ehime-u.ac.jp

重信キャンパスマップ



<会社設立背景と目的>

免疫とは、体内に存在する異物を攻撃して排除するための自己防衛システムであり、抗体は、タンパク質の1つで標的（異物）を識別するために重要な役割を担っています。がん治療領域においては、近年、抗体を利用して医薬品とすることで、免疫力を高めてがん細胞を攻撃する治療法（がん免疫療法：免疫チェックポイント阻害剤療法やキメラ抗原受容体 T 細胞療法など）が新たに確立されました。そして、様々な臨床試験の結果、再発・難治性がんに対して目覚ましい治療効果を示すことが明らかとなりました。このような背景から、国内外で新たな抗体医薬品の開発が盛んに進められています。

オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社の創業科学者である愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座/愛媛大学プロテオサイエンスセンター 越智俊元講師と、同血液・免疫・感染症内科学講座 竹中克斗教授、同免疫学・感染防御学講座/医学部附属病院先端医療創生センター 山下政克教授、愛媛県立医療技術大学 安川正貴学長の研究グループは、遺伝子改変技術を応用し、免疫治療効果の高い抗体を効率よく作製することができる新規技術

「Eumbody System™」を開発しました。キメラ抗原受容体 T 細胞（CAR-T 細胞：上述した抗体を利用したがん免疫療法製剤の1つ）にこの技術を応用したところ、新たに作製された CAR-T 細胞が、従来型 CAR-T 細胞と比較して高いがん治療効果を誘導することが明らかとなりました。抗体医薬品は、難治性がんだけでなく、自己免疫疾患や感染症など、様々な疾患の治療に応用されてきています。Eumbody System™は、治療目的に合わせた抗体医薬品の作製を可能にする技術であるため、これらの疾患の新規治療薬開発にも幅広く繋がる次世代抗体作製技術として期待されています。

オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社は 2020 年 7 月 9 日に愛媛大学から Eumbody

System™の独占的ライセンスを取得しました。同技術を活用して、アカデミアや製薬企業との連携を通して創薬支援事業および独自の医薬品開発を推進し、がんをはじめとした様々な難治性疾患に対する抗体医薬品開発に努めてまいります。

<会社概要>

社名	オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社
設立	2020年6月30日
所在地	愛媛県東温市志津川454
代表者	西岡 駿
HP	www.optieumbio.com (近日公開予定)
事業内容	新規一本鎖抗体 (scFv) 作製技術を応用した医薬品の研究開発